



千歳烏山の地へ

人と街 お米で広がる 笑顔でつなぐ

ちとせからすやま

千歳烏山に息づく想い



シマダの原点は、今から遡ること70年以上前。1952年、創業者・島田宇平が千歳烏山の地に「島田精米店」を開店したところからスタートします。戦後の街をおいしいお米で元気にしよう奔走し、やがて「食の次は住まいで人々の暮らしを豊かにしよう」と田んぼだらけだった土地に住宅を建てました。不動産業でもこの街とつながり、ともに成長してきた歴史があります。



島田宇平商店ではおむすび、米麺（フォー）、日本酒などを楽しまいただけます



そんな“シマダゆかりの地”、千歳烏山に2022年に誕生したのが島田宇平商店です。普段は角打ちとして親しまれていますが、地域の子どもをはじめ、仕事に育児に忙しい方々のためにほっと安らげるひとときを届けたい、という想いで定期的に子ども食堂を開催しています。取材の日は、20回目の子ども食堂の日。最初はたった3人だったメンバーも社内で続々と有志が集まり、これまで40人もの社内ボランティアが参加するシマダの名物プロジェクトに発展しました。



みんなで育てた
“コシヒカリ”の
おむすびです！

「お米×笑顔」の相乗効果で この街に恩返しができれば



この日、子ども食堂で提供したお米は社員とその家族が育てた“コシヒカリ”。いつもは別の施設やお店で働くメンバーが事業部の垣根を超えて集まり、100食のお弁当を用意しました。また、シマダグループが運営する介護施設「ガーデンテラス千歳烏山」から3名のご入居者がボランティアとして参加。時には地域のオーナー様が野菜を届けてくださるなど、お米を中心に笑顔の輪が広がります。全ては、千歳烏山のみなさんに健康を届けるため。大地に根を張り、稲穂を実らせ、収穫の喜びを還元していくことが街への恩返しだと信じているからです。島田宇平商店には、今日も元気な笑い声が響きわたります。



大好評の
ボン菓子は
昔ながらの
機械で作りました

PICK UP

本日の子ども食堂 スタッフ

今日はお子様ランチをイメージしたお弁当を作りました。千歳烏山ですべて地域貢献ができるよう頑張りたいです。

島田宇平商店 ▶
西村さん



ご来店ありがとうございます！

今回来てくれた子どもたちが、いつか今日のおむすびを思い出して「また食べたいな」と思ってくれたら嬉しいです。

◀ COMPHO コビス吉祥寺店
武川さん

PRESENT



島田宇平商店のおこめギフトを 10名様にプレゼントいたします！

内容：4代目当主のブレンド「織り米」2種類（各1kg）、米麺、カレー
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

お米と街がつながる シマダグループの歴史

- 1952 島田宇平がはじめた「有限会社 烏山北部 島田精米店」設立
- 1960 世田谷区烏山にて建築不動産業開始
- 1992 現在の宇平商店のある場所に「T・S烏山ビル」を竣工
- 2001 米麺（フォー）専門店「COMPHO（コムフォー）」1号店開業
- 2008 ホテル事業へ参入、「石垣島ホテルクル」開業
- 2010 介護事業へ参入、デイサービス及び訪問介護「ひばりの介護」開業
- 2020 吉川醸造株式会社の全株式を譲受け、酒造り事業に参入
- 2022 千歳烏山に「島田宇平商店」開設



コメコメ倶楽部が活動中



社員とその家族50名が集まり、田植えから稲刈りまでを行うチーム。神奈川県伊勢原市の田中ファームさんにご指導をいただいています。